

有機フッ素化合物（P F A S）への対応状況報告

（１）井戸水の調査

令和 6 年 4 月から令和 7 年 2 月にかけて、計 6 回にわたり軽井沢地区の井戸を調査し、調査した井戸 2 2 2 カ所のうち、7 2 カ所から暫定指針値を超過する値が検出された。

また、1 回目の検査で暫定指針値を超える PFOS/PFOA が検出された井戸 7 カ所について、経年変化を確認するために再調査を実施し、数値の変化はあったが、いずれも暫定指針値を超える結果となった。

○実施内訳（左から実施日、調査井戸数、超過井戸数）

1 回目	R6. 4. 24	17 本	7 本
2 "	R6. 6. 3～4	31 本	13 本
3 "	R6. 8. 19～21	40 本	15 本
4 "	R6. 10. 7～10	126 本	35 本
5 "	R6. 11. 26～27	7 本	2 本
6 "	R7. 2. 7	1 本	0 本

（２）地質汚染機構解明調査

原因究明として、地質汚染機構解明調査を進めており、基礎調査の一環として、地下水位、スクリーン深度および井戸深度を測定する、井戸諸元調査を実施した。対象として、これまでに水質調査を行った井戸から、千葉県の助言を受けて 1 0 カ所の井戸を選定した。

調査の結果、PFOS/PFOA の濃度は第 1 帯水層において高い傾向があることや、第 1 帯水層における大まかな水の流れる方向が判明したが、より明確に流動方向等を確認するための調査が必要な状況である。

○調査期間 R6. 10. 1～11. 5

（３）各種支援策

（a）給水所の設置

令和 6 年 5 月から、飲用水確保のためさわやかプラザ軽井沢の散水栓を開放してきたが、同年 9 月からは、新たに軽井沢自治会館においても散水栓を設置し、ご利用いただいている。

（b）浄水器・ウォーターサーバー利用に係る費用の助成

令和 6 年 6 月から、浄水器の購入やウォーターサーバーの利用に係る費用の補助を開始し、地域からの意見を受けて、補助金の増額や補助期間の延長、貸借に対する補助制度の創設など、実情に合わせた内容に改正してきた。

現時点で、浄水器について 6 件、ウォーターサーバーについて 5 件の補助を実施しており、利用しやすいよう適宜制度の見直しを行っている。

（c）血液検査費用の助成

令和 6 年 9 月から、P F A S の血中濃度測定に係る血液検査費用の助成を開始

した。また、令和6年12月から流山市にある「東葛病院」で検査できるようになったことを受け、これまでに10名が検査を受けたが、そのうち9名がアメリカの学術機関である全米科学工学医学アカデミーが健康影響へのリスクが高まるとしている、PFASの血中濃度が20ng/mLを超える結果となった。PFAS血中濃度と健康状態の関連について明確な情報は無く、現時点で体調不良を訴えている住民はいないが、健康に不安を感じている人に対しては希望に応じて保健師による健康相談を実施し、医療機関の受診をお勧めするなど、フォロー体制を継続する。

また、検査でPFASの一種であるPFHxS（ペルフルオロヘキサンスルホン酸）の数値が高く検出された。PFHxSは、令和6年2月以降、国内での製造および輸入が禁止され、使用も制限されている物質だが、健康影響へのリスクなどについて不明な点が多く、国による暫定指針値も設定されていない。

こうした点も踏まえ、今年度採水調査を予定している井戸の所有者に対し、地下水におけるPFHxSの数値を測定するための試験的な調査であることを説明し、承諾を得られた井戸についてPFHxSの水質調査を実施する。

（４）上水道敷設に係る取り組み

安全な飲用水の確保について、上水道の敷設を一つの解決策として取り組んでいる。令和7年1月26日（日）には、学校給食センターにて上水道敷設に係る住民説明会を実施し、同3月より、上水道利用の希望の有無についてアンケート調査を行っている。市では、まず住宅の前面道路まで本管が接続しているケースと未接続のケースに分け、未接続の住宅でも希望者については本管を敷設することができるよう、取り組んでいる。

（５）軽井沢通信の配布

軽井沢通信は、軽井沢地区の情報を周知するために同地区向けに配布しているかわら版で、PFASに関する情報をいち早くお伝えするべく、随時軽井沢通信を配布している。PFASに関する内容として、これまで第8号から第25号まで、合わせて18回配布した。今後も、PFASに関する新たな情報について、軽井沢通信を配布する予定である。

（６）下総航空基地における調査等

下総航空基地に対しては、千葉県、柏市、白井市と連携して原因究明に係る取り組みを実施するよう要望し、令和7年3月に基地内を流れる表流水の採水調査を実施することとなった。その結果、暫定指針値を超過するPFOS/PFOAが検出されたことから、同4月11日付で、排水口からのPFAS等の流出防止対策の実施や排水口における超過原因の調査などについて依頼した。さらに、周辺市において事態の早期解明を求める声が多く上がっていることから、鎌ヶ谷市、柏市、白井市の連名で、原因究明に資する調査の実施などについて依頼した。